

<過去1週間の動き>

(8月10日～8月16日)

USD/TRY: 8.4600～8.6800

TRY/JPY: 12.73～12.93 (参照値)

過去1週間のトルコ・リラ相場は、予想外の堅調。リラ堅調には、11日に発表された米7月CPI、13日のミシガン大学8月消費者マインド指数暫定値などを受けたドル安の要素も少なからずあった。12日に前後して、対ユーロ、対円などでも、リラが水準を切り上げた値動きは、同日のトルコ中銀金融政策委員会による政策金利据え置き決定を好感した反応と考えられた。見方を変えれば、市場の予想は金利据え置きでほぼ固まっていたものの、一部に、利下げ強行に対する警戒感が熾っていたということであろう。とりわけ、エルドアン大統領が、8月4日の時点で、「物価は金利と共に減速する」との持論を繰り返し、実質的な利下げ要請を発していた経緯を振り返ると、同銀が「政治的圧力に抗した」と好感することもできたに違いない。また、発表された声明は、「政策金利を物価よりも高い水準に維持する」方針を明確に謳っており、当面、政治当局からの利下げ圧力に屈しない姿勢を示していた。ただし、堅調とは言え、リラは引き続き史上最安値圏と言える水準にあったし、トルコ中銀アーバル前総裁更迭(3月20日)直前と比較すると、対ドルで-15%前後の水準にとどまっていた。

<過去1週間に発表された主要経済指標等>

月日	GMT	指標	期間	発表	予想*	前回
8/10	7:00	失業率	6月	10.6%		13.1%r
8/12	7:00	鉱工業生産(前年比)	6月	+23.9%	+21.7%	+40.9%r
	7:00	小売売上高(前年比)	6月	+17.4%		+27.6%r
	11:00	1週間物レボ金利		19.00%	19.00%	19.00%
8/13	7:00	経常収支(USD)	6月	-1.13bn	-1.15bn	-3.20bnr
8/16	8:00	財政収支(TRY)	7月	-45.8bn		-25.0bn

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

<向こう1週間の見通し>

(8月17日～8月23日)

USD/TRY: 8.400～8.600

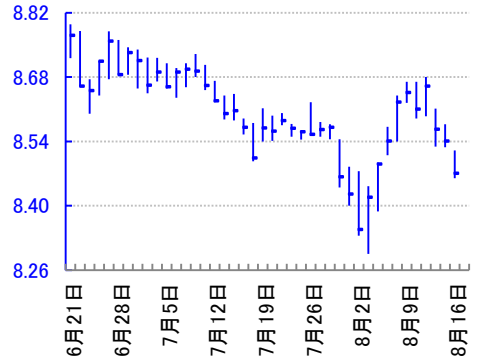
TRY/JPY: 12.75～12.95

向こう1週間のトルコ・リラ相場は、方向感を欠いた膠着を予想。仮に値幅が出るならリラ安を警戒する。上述の通り、直近のリラ反発には少なからずドル安の側面があった。市場の注目は26～28日のカンザス連銀経済シンポジウム(ジャクソンホール)に集まっており、その結果を見るまでは、米連銀による金融緩和縮小(=金融引き締め)姿勢を巡る思惑に、市場が右往左往させられる状況が続くのではなかろうか。実際にジャクソンホールの結果を見るまでは、敢えて選ぶなら、ドル高に振れ易い傾向が強いものと見込む。過去数ヵ月間のドル指数(ICE)の動きを振り返ると、ここ数日、確かに軟調に推移してはいるものの、6月央にドットチャート(米連銀各理事の政策金利見通しを示した図)が利上げ前倒しの可能性を示唆して以来、大きく水準を切り上げていたドルが、(7月末からの乱高下を経て)引き続き高値圏にある事実が読み取れる。こうした値動きは、パウエル議長がどれだけ金融引き締め期待の抑制に努めようとも、米物価/労働市場動向が、金融市場の金融引き締め期待を前のめりにしている現実を反映しているように思われるからだ。一方で、トルコ側にも3点程大きな不安要因が認められる。ひとつ目は、政策金利を物価よりも高く保つというトルコ中銀の方針だが、早ければ8月にも、CPIが+19%を上抜けてくる可能性は十分に予見できる。その場合、果たして同銀が宣言通り利上げに踏み切れる可能性が高いとは思われないし、万が一、利上げした場合のエルドアン大統領の反応も気掛かり。2点目は、山火事の影響を受けた同国観光業の状態。23日に発表される7月の外国人観光客統計には、山火事の影響は大きくは反映されないだろうが、今後の動向には留意しておきたい。最後に、撤退する米軍に代わってアフガニスタンに駐留するはずだったトルコ軍に関する情報が聞こえてこない現状に不安を覚える。タリバンによるここまで急速なカブール進出は、米政権にとって大誤算であったに違いない。その誤算の大部分が、トルコ軍にあったと、万が一にも、米政権がトルコ政府を非難するようなことがあれば、米国とトルコの一段の関係悪化を警戒する必要があるだろう。

<向こう1週間に発表予定の主要経済指標等>

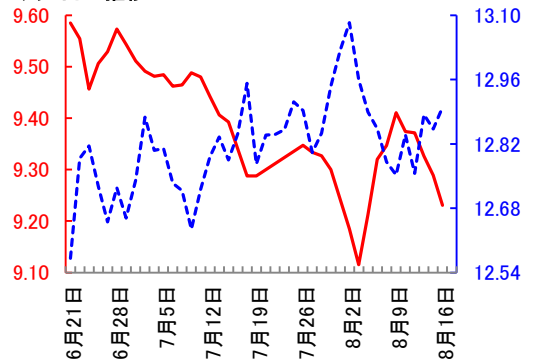
月日	GMT	指標	期間	発表	予想*	前回
8/23	8:00	外国人観光客(前年比)	7月			+853.4%

USD/TRYの推移(日足/ロンドン 7:00～17:00)



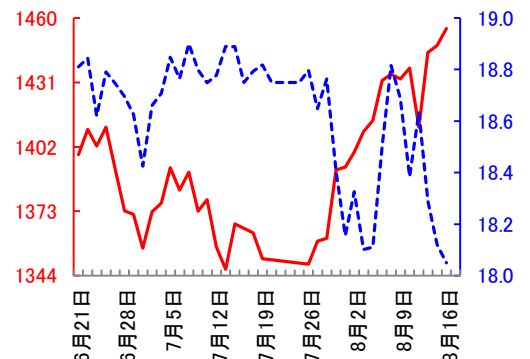
バスケット/リラの推移(トルコ中銀公示)

リラ/円の推移(ロンドン 17:00)



株式市場の推移(ISE 100 種指数)

長期金利の推移(5年スワップ金利)



(資料: トルコ中銀/トムソンロイター/ブルームバーグ)

トルコ関係主要経済指標

1週間物レボ金利		19.00%
成長率(GDP/前年比)	Q1	+7.0%
失業率	6月	10.6%
消費者物価(前年比)	7月	+18.95%
鉱工業生産(前年比)	6月	+23.9%
小売売上高(前年比)	6月	+17.4%
貿易収支(USD)	6月	-2.85bn
経常収支(USD)	6月	-1.13bn

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。